

■育てることができないと追い詰められた女性のために…いのちをつなぐ

思いがけない妊娠をテーマにした映画上映と、小さないのちのドアスタッフによるトークショーを行いました。小さないのちのドアのプロモーションビデオに楽曲を提供して下さっているシンガーソングライターの西尾洋さんにも歌って頂きました。10～20代のユースを対象としたイベントとして、2020.2/8には約40名の方がお集まりくださいました。3/15にも、全年代対象の一般向けに開催を予定していましたが、コロナウイルスの感染拡大防止を鑑み、残念ながら中止とさせていただきます。

■クラウドファンディングへの挑戦

4月には、マタニティホーム建設のためのクラウドファンディングをスタート！大きな挑戦ではありましたが、本当に必要な場所を作るために一歩を踏み出しました。目標金額10,000,000円として始めたクラウドファンディング。募集終了となる6月30日には、963人の支援して下さった方々により、総額18,895,000円ものご支援が集まりました。心を寄せていただきましたこと、本当に感謝いたします…！ご寄付いただいたものは、用途に充てています。一つ一つが皆様のお気持ちとして、大切に使用させていただきます。

■建て上げられるマタニティホーム

建設費用も集まり、無事に、6/17 マタニティホームの起工式を行うことができました。7月に着工、8月に上棟と、暑い日が続く中、職人の方々が丁寧に作り上げてくださいました。クラウドファンディングで建設費用は集まったものの、まだ費用が十分に足りない部分もありました。建具や設備、壁や床の塗装・美装作業、お部屋の家具や生活用品など、ここでも本当に多くの方々が、ボランティアの作業や設備や物品のご寄付など、様々な必要を満たしてくださいました。「ここはあなたのために多くの人達の協力によって建てられた、あなたのためのホームですよ」と、来所した方に必ずお伝えいたしています。

■与えられた働き手

さて、マタニティホーム始動に向け、もう一つのすべきこと、8月から11月にかけて、職員・ボランティアを募集し、応募いただいた方に「小さないのちのドアから学ぶ～いのちのセミナー」「ボランティアセミナー」「職員研修」を行いました。グループワークでの事例を話し合いながら、自分自身の抱えている考え方の傾向から、心に重荷を持っておられる方々との関わり方について学びました。いのちのセミナーには約70名ほどの方が受講して下さり、その内、約30名の方が実際にボランティアやスタッフとして加わって下さっています。本当に感謝なことです。

【ご寄付用途の内訳】

建設費用の不足分・他設備費・利用者の必要な衛生用品・医療費・来所のための交通費・光熱費・必要物資・セキュリティ関係・食費・当直や給仕のための人件費・交通費・パンフレットなど広報用印刷費



■マタニティホーム「Musubi」スタート

12/5(土) いよいよ、マタニティホーム「Musubi」がスタートしました。人と結ばれ・社会と結ばれ・絆が結ばれ・愛が結ばれる、そんな居場所になれば…という思いを込めて、マタニティホーム「Musubi」と名付けられました。

12/12(土)の竣工式に先駆けて入居された方も複数おられ、すでに、ここから新しい一歩を踏み出された方々もおられます。今も複数の女性が入居されていますが、来られた当初は心身ともに疲れた状態だった方々が安全で安心な場所で、たくさんの人に見守られながら過ごすことによって笑顔で過ごすことができるようになっています。

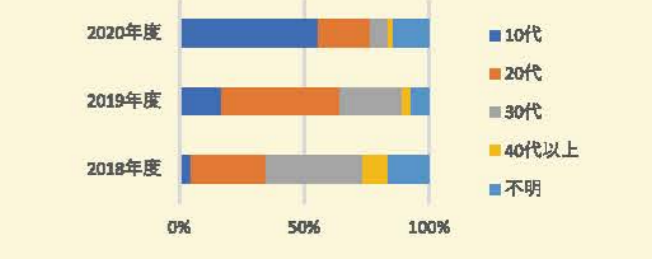
見えない部分も含めて隔々まで、皆様の温かいお気持ちによって作られている「マタニティホーム・Musubi」。先日、支えてくださる皆様からのお手紙やコメントなどをホームにいる女性たちに紹介させていただいた際、皆涙を流し、感動しておられました。皆様の応援あつての小さないのちのドアの活動であり、多くの方々の愛が、たくさんたくさん詰まった場所がつけられたことは、マタニティホームで過ごす方々にとっても、スタッフにとっても、大きな支えであり、励みとなっています。

■相談の大きな変化

新しい方からの相談は月平均20～30人ほどだった新型コロナウイルス流行以前。休校措置が取られたころから相談件数に変化が出て、3月には新規の相談者数は倍になり、その後も急増していきました。10代からの相談が増え、相談内容も思いがけない妊娠以前の、妊娠したかもしれないという相談が急増しました。

コロナ禍において、社会が不安定になる中で、性行動につながる若い世代の方々や、もともと安定した状況のない中で妊娠した女性たちは、真っ先に職や住む所を失い、さまようしかない状況に置かれています。ホームにつながり、今笑顔で穏やかに生活しておられる方もいますが、今もなおさまよっている女性たちがいると思うと心が痛みます。先日も神戸の方で新生児遺棄事件で逮捕された女性がおられましたが、どこかでつながることができていたらと思うと、一人でも多くの女性の心や赤ちゃんのいのちが守られるように、もっと発信していく必要を痛感しています。

2020年1月～12月までの1年で陣痛が始まってから、もしくは産んですぐに相談をくださった方が5名おられました。皆無事に医療機関等につながり、いのち守られました。一歩間違えば、事件になりかねない状況で、緊張が走ることもしばしばありますが、小さないのちと女性たちが守られる社会の実現に向けて、これからも相談しやすい温かい窓口を作っていくことができたらと思います。



小さないのちのドアを支えてください

小さないのちのドアは現在、寄付金のみで運営しています。どうぞ私たちと一緒に小さないのちのドアを支えてください。



※このニュースレターは日本財団の助成金により作成されました。

サポートの種類

1. 一般会員 一口(個人) 10,000円/年(団体) 100,000円/年
2. 賛助会員 一口(個人) 3,000円/年(団体) 30,000円/年
3. マンスリーサポーターになる: 任意の金額/月
4. 寄付をする
5. ボランティアに参加する ※詳細は事務局へ
6. 里親希望(特別養子縁組や里親制度をご紹介) ※詳細は事務局へ

1. オンライン決済(クレジットカード決済)
Syncable(シンカブル)にてクレジットカード決済ができます。
<https://syncable.biz/associate/inochi-door/>
2. 郵便振替・自動送金
記号: 00900-9 / 番号: 333599
加入者名: 小さないのちのドア
3. 現金書留
裏面の小さないのちのドア事務局宛にお願いいたします。

4. 銀行振込
金融機関 三井住友銀行 ゆうちょ銀行
支店名 鈴蘭台支店(348) 099(せせのき)店
種類・番号 普通5062338 当座0333599
名義 (一社)マタニティホーム・マナ 小さないのちのドア
※口座名義人の表記が、変更登記手続きが完了次第「(一社)マタニティホーム・マナ」から「(公社)小さないのちのドア」に変更になります。
※ご入金くださった方・特に領収証が必要な方は、小さないのちのドア宛(電話/FAX/メール)に、お名前とご住所をお知らせ下さい。